

芦田祭遊会

祭遊会小頭 柳沢 功

8月第1週の土曜日に毎年行われている『町民祭・えんどこ』その祭りの最後を盛り上げる『御神輿』そしてどこよりもカッコ良く、美しく、楽しく担いでいる、純白の集団が『祭遊会』（町区）です。当然の事ながら『えんどこ』の当日は、最大のパフォーマンスを行うのですが、神輿は、ただ当口楽しく担ぐだけの物ではないと思います。一年間を通じてより良い祭りが出来る様他の神輿団体との綿密な打合せ、意思の疎通を図っており、神輿だけでなく、どの様にしたら『えんどこ』が楽しく盛り上がるかを考えています。

また、祭遊会メンバーも一年間を通じて町区の行事、奉仕活動等にも協力をしております。祭遊会の考えの一つに、お祭りに参加する事により、若者から年配者までが、同じ事を行い顔見知りになり、



その他の町区活動等にも参加しやすい環境ができる様頑張っています。

前日の夜は、宵宮ということで、神輿を組立てその後は、当日の打合せ等をメンバーで行っています。若者達も一生懸命神輿を組立てながら、当日の祭りに胸を躍らせています。

『えんどこ』は町民参加型の祭りであり、若い力の参加と地域高校という事もあり、夢科高校の生徒による高校生神輿の運行をしていますが、祭遊会として協力させてもらっています。

『えんどこ』は、町民参加型の祭りなので、踊りも神輿も見ているだけでは、楽しさが半減してしまいます。どうせ祭りに来るなら、参加しなければ損々、神輿に参加して、一緒に祭りのフィナーレまで楽しみましょう!!

塩沢区民みんなで参加をコンセプトに

塩沢大人みこし実行委員長 三宅 裕一

平成2年立科町に「立科えんどこ」町

民まつりが立ち上がり、塩沢みこしも子どもみこしと共に祭りに練り出しました。みこしは酒樽を使った手作りのみこしで、毎年一から組み立て始め、飾り付けまで塩沢区民皆さんの手を借りながら完成させます。2週間前の作成日から祭り当日まで塩沢の県道沿いにみこしを飾るとともに、みんなで作り上げた思い思いの看板も飾られ花を添えます。昨年からは子供みこしも樽みこしとなり、大小の樽みこしが練り歩く光景は見応えがあります。立科えんどこは塩沢区民参加の大イベントともいえます。当日朝から公民館では祭りで振る舞う食事や飲み物の準備が始まり、お宮前では子供みこし、大人みこしも最後の飾り付けが始まります。大人みこしには、子供の誕生、米寿の祝及び入学祝等、各家庭での節目となる行事を祝う提灯、応援いただいた企業提灯が飾られ、出発の準備が整います。芦田宿周辺へ練り出す前、花火を合図に威勢の良い掛け声とともに塩沢区内での練り歩きが始まり、沿道では区民の皆様の温かい励ましがいたるところから聞

こえ祭りを盛り上げます。塩沢公民館前では盛大に「こしもち」の振舞が行われ、祝提灯を飾った家庭の前では担ぎ手と集まった皆さんと共に一本締めで祝を表す。節目の年において大きな思い出作りにみこしは欠かせないものとなっている。

約2時間かけ練り歩いたみこしは、祭りの余韻を塩沢に残し芦田宿周辺での練り歩きに向け塩沢を後にします。大勢の皆さんが参加できる祭り、大勢の皆さんに楽しんでもらえる祭り、塩沢みこしのコンセプトです。

